

浅海定線調査結果（平成30年8月6日）

福岡県水産海洋技術センター豊前海研究所

1. 観測結果

		平成30年8月	平年値との差 (平年値)	昨年8月との差 (昨年8月観測値)
水温 (°C)	表層	29.5	+ 1.7 (27.8)	- 0.6 (30.1)
	底層	27.0	+ 2.1 (24.9)	+ 1.0 (26.0)
塩分 (PSU)	表層	30.98	+ 0.03 (30.95)	- 0.24 (31.22)
	底層	31.75	- 0.07 (31.82)	- 0.12 (31.87)
透明度 (m)		6.8	+ 1.9 (4.9)	+ 1.9 (4.9)

※ 観測値 : 周防灘12定点の平均値を表しています。
※ 平年値 : 過去30年分の同月平均値を表しています。

2. 概況

(1) 水温

・表層、底層ともかなり高めでした。

(2) 塩分

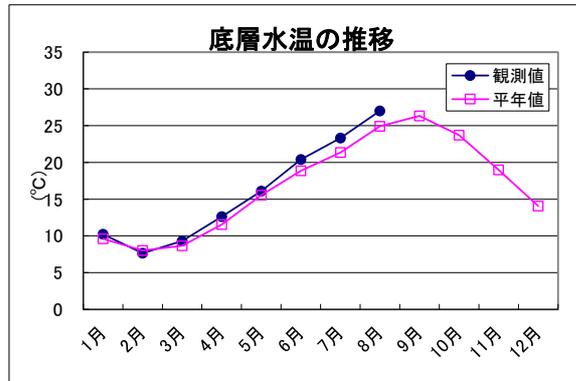
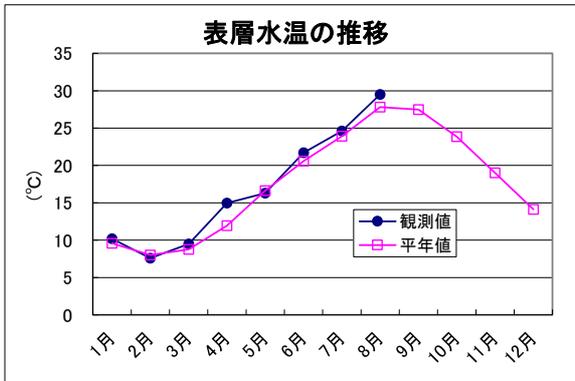
・表層、底層ともに平年並でした。

(3) 透明度

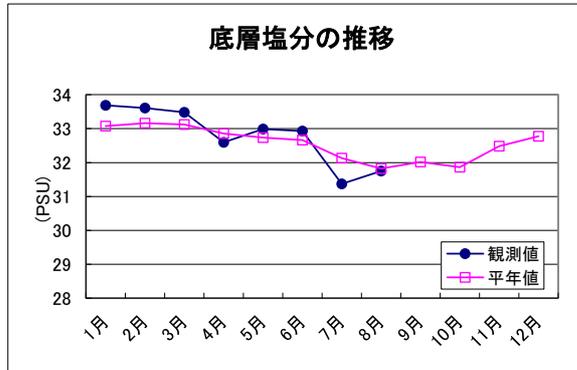
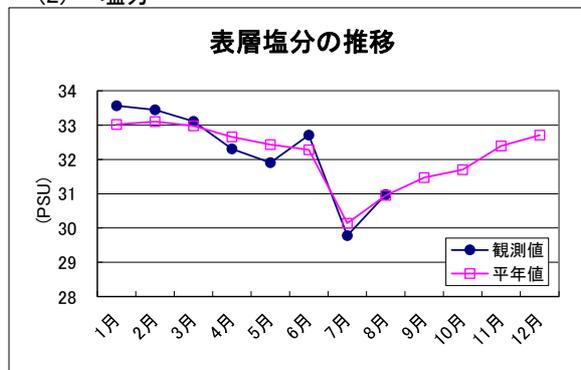
・透明度はやや高めでした。

調査結果（グラフ）

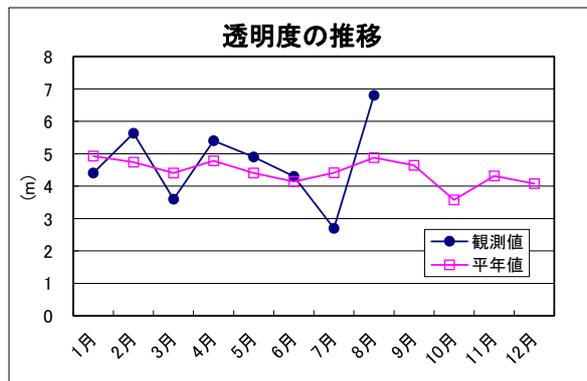
(1) 水温



(2) 塩分



(3) 透明度



3. その他

- ・ 調査区域内で赤潮による海面の変色や貧酸素の海域は見られませんでした。
- ・ 北部と南部の沿岸域調査点の表層と5m層の海水中に麻痺性貝毒プランクトンは確認されませんでした。
- ・ 調査中、傘径が20cm前後に成長したミズクラゲとアカクラゲが数個体確認されました。
- ・ 海域の漂流ゴミは多くはありませんが、1m前後の竹が全域の所々で見られるほか、南部では約200m四方に小型のゴミが集まっている海域が見られます。